

国際コーディネートについての説明書

I. 国際コーディネートの流れ

大まかなコーディネートの流れは国内ドナーコーディネートとほぼ同様です。

1. 海外バンクへの患者登録	<ul style="list-style-type: none">・はじめに日本骨髄バンクへの患者登録が必要です。・米国(NMDP)、台湾(BTSCC)、韓国(KMDP)、中国(CMDP)とのコーディネートが可能です。
2. ドナー検索	<ul style="list-style-type: none">・海外ドナー検索手数料(初回のみ)は1万円です。登録中は何度でも検索が可能です。・NMDPドナー検索では、米国以外の国のドナーが検索されることがあります。コーディネートは可能ですが、コーディネートルールや費用はドナー居住国のバンクに従います。
3. ドナーとのコーディネート開始	<ul style="list-style-type: none">・国内ドナーと海外ドナーを併行してコーディネートが可能です。・同時に進行できる人数は、NMDP, BTSCC は制限なし、KMDP, CMDP は5人までです。
4. ドナー確認検査	<ul style="list-style-type: none">・感染症検査とHLA検査(SBT法)を日本で実施します。・運搬の遅れ(悪天候等)により血液検体が劣化し検査できない場合、また、ドナー検索時と確認検査時のHLA検査結果に相違があった場合も、患者負担金が発生します。
5. ドナー選定(ドナーを1人に絞ります)	<ul style="list-style-type: none">・国内ドナーと海外ドナーの両方を併行して1位選定することはできません。・CMDPは末梢血幹細胞のみ提供します。・NMDP、KMDP、CMDPでは、患者理由で1位ドナーのコーディネートを終了する場合にキャンセル料がかかります。・BTSCCでは、患者、ドナーいずれの理由で終了になっても、キャンセル料がかかります。・厚生労働省からの通達により、海外ドナーから提供を受ける場合は、採取前にウエストナイルウイルス検査(有料)を実施し、陰性であることを確認します(検査料、採血手数料等がかかります)。検査結果が陽性の場合には採取を中止します。
6. その他	<ul style="list-style-type: none">・ドナーとの手紙交換ルールは国内と同様です。・NMDPでは、提供ドナーの間合せに応じて、患者さんの移植後の経過を伝える場合があります(移植後1年以内に限る)。

II. 留意点

海外バンク登録にあたっては、日本骨髄バンク「コーディネートについての説明書」に加え、以下の点をご確認ください。

1. 個人情報について
コーディネートに必要な患者さんの情報を海外バンクに提供します。
2. コーディネートにかかる費用について
別紙「各海外バンク ドナーコーディネート料金表」のとおり、お支払いいただく費用が高額になります。
3. 極めて稀な可能性(海外からの提供に伴うリスク)について
日本国内では流行していない感染症のリスクや、海外情勢による遅延・中止のリスク等が高まる可能性があります。

海外バンクにおける患者登録に関する同意書

私（患者）は「国際コーディネートについての説明書」により以下について説明を受け、十分に理解した上で、海外バンクに登録しているドナーとのコーディネートを開始し、骨髄または末梢血幹細胞移植を受けることを了承しましたので、担当医師より「SEARCH REQUEST」が提出され、海外バンクに患者登録されることに同意します。

1. 国際コーディネートの流れについて
2. 個人情報について
3. コーディネートにかかる費用について
4. 極めて稀な可能性(海外からの提供に伴うリスク)について

※ 枠内は必ずご記入ください。

記入日 _____年 _____月 _____日

患者氏名（自署） _____ 生年月日 _____年 _____月 _____日

*年齢・体調などの理由で家族の代諾となる場合は、患者本人・代諾者の両方の氏名を代諾者をご記入ください。

代諾者氏名（自署） _____ 続柄 _____)

（説明者記入欄）

私は、「国際コーディネートについての説明書」に基づき、患者さん（本人または代諾者）に説明し登録の意思を確認しました。

枠内は必ずご記入ください。

*説明者が医師以外の場合は職種もご記入ください

説明者氏名（自署） _____ 職種 _____

所 属 _____ 病院 _____